

グリーンインフラ(川内川水系かわまちづくり等)の推進について

第8回 川内川水系流域治水協議会

川内川水系かわまちづくり計画

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 6 年 8 月 8 日
九州地方整備局
川内川河川事務所

「川内川水系かわまちづくり計画」を変更しました

「川内川水系かわまちづくり計画」は、川内川の安全な河川利用や川内川流域全体の地域活性化を図ることを目的に水系一貫の計画として平成 29 年 3 月に策定し、流域 5 市町や地域住民と連携して全 14 箇所の河川環境整備事業を推進してきたところです。

令和 6 年 8 月 8 日付けで、「川内川水系かわまちづくり」計画に新たに入来麓地区（薩摩川内市）を追加登録しましたのでお知らせいたします。

今後は、これまでの整備箇所を含め、全 15 箇所のかわまちづくりに取り組んでいきます。

また、以下の通り、鹿児島県、薩摩川内市と登録証の手交式を開催いたします。

◆手交式

日時 令和 6 年 9 月 6 日（金）13 時 30 分から

場所 薩摩川内市役所 市長応接室（4 階）

川内川水系かわまちづくり（変更）・・・別紙 1

参考：かわまちづくり支援制度の概要・・・参考

<かわまちづくり HP : <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/>>

事前申し込み：取材希望の報道機関は、別紙 2「事前申込書」をご提出ください。

問い合わせ先：国土交通省九州地方整備局

川内川河川事務所

技術副所長 中原 寛人

流域治水課長 永谷 恵一

電話：0996-22-3359（直通）

川内川河川事務所ホームページ：<https://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>

「川内川水系かわまちづくり」（変更）

別紙 1

（鹿児島県：薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、宮崎県：えびの市）

対象河川：一級河川 川内川水系川内川・樋脇川 【国・県管理河川】

市町村名：鹿児島県薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、宮崎県えびの市

推進主体：薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市



1. 概要

川内川流域では、川内川沿川 3 市 2 町が連携し、流域一体となって、川内川を軸としたかわまちづくりを推進しています。これまでの整備や活用等を通じ、観光資源などを活かして新たに箇所を追加したいというニーズが高まっています。追加箇所等も含め、舟と自転車を特色としたかわまちづくりを推進し、観光を主軸とした川内川ブランド構築も目指し、地域活性化・観光振興に取り組んでいます。

国土交通省と鹿児島県では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則第 2 2 条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省：管理用通路、高水敷整正、階段護岸等 関係市町：駐車場、案内看板、トイレ等

鹿児島県：石積護岸、管理用通路等

3. ソフト施策の内容

国土交通省、鹿児島県：都市・地域再生等利用区域の指定 等 関係市町：パンフレットの作成 等



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

グリーンインフラの取り組みの1つとして、小中学校などにおける河川環境学習(水生生物調査)を実施
○10団体(延べ11回)351人が環境学習として、水生生物調査に参加
(川内川概要・水質調査・水生生物調査・とりまとめ発表)



⑪えびの市立 加久藤小学校

⑦えびの市立 真幸小学校

⑤えびの市立 上江小学校

③べんきょうしつモンシェリハウス

⑧湧水町立 轟小学校

②川内川をつくり見守る会

①祁答院小学校

⑨育英小学校

④高来地区コミュニティ協議会

⑥鹿児島県立 鶴翔高等学校

⑨育英小学校

⑩育英小学校



No.	実施団体	調査河川	調査場所	調査日	参加者人数	スタッフ人数
1	薩摩川内市立 祁答院小学校	小久留主川	熊屋公民館前	R6.7.4	23	8
2	川内川をつくり見守る会	高城川	稚児ヶ瀬	R6.8.3	41	10
3	べんきょうしつモンシェリハウス	夜星川	夜星川橋付近	R6.8.8	28	11
4	高来地区コミュニティ協議会	高城川	妹背橋下流	R6.8.17	43	6
5	えびの市立 上江小学校	川内川	麓橋上流	R6.9.5	12	5
6	鹿児島県立 鶴翔高等学校	高城川	妹背橋下流	R6.9.9	13	5
7	えびの市立 真幸小学校	川内川	真幸堰右岸下流	R6.9.13	22	9
8	湧水町立 轟小学校	幸田川	川内川合流点付近	R6.9.18	21	5
9	薩摩川内市立 育英小学1組 (バックテスト)	川内川	天大橋下	R6.10.10	56	6
10	薩摩川内市立 育英小学2組 (バックテスト)	高城川	妹背橋下流	R6.10.10		
10	薩摩川内市立 育英小学校 (生物)	高城川	妹背橋下流	R6.10.15	55	14
11	えびの市立 加久藤小学校	川内川	加久藤橋上流	R6.10.22	37	9
参加人数合計 (延べ人数)					351	88

天辰地区かわまちづくりの状況

(薩摩川内市)

R1年度から地域の方々を中心とした準備活動を展開し、「**平佐西かわまちづくり協議会(R4.3設立)**」にて河川空間の利活用や維持管理について検討協議している。

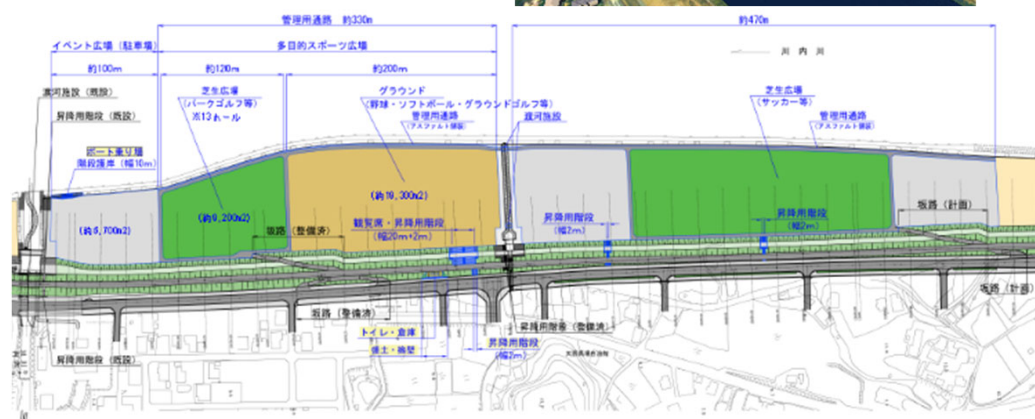
協議会の意見を反映し、以下の整備案ができています

天辰地区の完成イメージ図➡

現在、天辰樋管下流側の旧堤撤去が完了。令和7年度中の供用開始(下流側)に向けて、高水敷整備(国)・トイレ倉庫建築準備(市)・運営備品調達準備(市)・愛称募集(協議会)が進められている。



↓天辰地区の計画平面図(案)



平佐西かわまちづくり協議会 活動状況

●協議会設立に向けた活動

- 第1回(R1.6.13-14) 先進地視察(筑後川、球磨川)
- 第2回(R1.8.26) かわまちづくり出前講座(市建設政策課講師)
- 第3回(R1.10.9) 関係団体との検討会
- 第4回(R1.11) 参画希望者募集(平佐西コミだより11月号)
- 第5回(R1.11.19) 河川敷活用に関する意見交換
- 第6回(R2.7.8) かわまちづくりに関する市との協議
- 第7回(R2.8.26) 河川改修計画・整備状況の説明会
- 第8回(R2.10.4) ★第1回準備会(整備メニュー抽出)
- 第9回(R2.12.23) ★第2回準備会(ゾーンイメージ案検討)
- 第10回(R3.2.19) 天辰河川敷き視察(管理運営の課題抽出)
- 第11回(R3.3.19) かわまちづくり計画変更(河川事務所公表)
- 第12回(R3.12.16) 先進地視察(伊佐市、えびの市)
- 第13回(R4.1.27) 協議会発足に向けた事前協議

●平佐西かわまちづくり協議会

- 第1回(R4.3.14) 協議会設立
- 第2回(R5.3.22) 整備計画素案の承認
- 第3回(R6.3.19) 施設整備・備品計画の承認
- 第4回(R6.4.24) 宮野前会長を委員追加(地域住民代表)【書面】
- 第5回(R6.11.25) 現場視察・愛称募集の承認

●平佐西かわまちづくり協議会 作業部会(ワークショップ形式)

- 第1回(R4.6.15) 整備メニュー・イメージ案検討
- 第2回(R4.8.19) 4部会別での整備案、利活用案の検討
- 第3回(R4.10.25) 階段トイレ倉庫の設置検討、維持管理手法検討
- 第4回(R4.12.26) 整備計画素案の検討、維持管理方針検討



第1回準備会(R2.10.4)



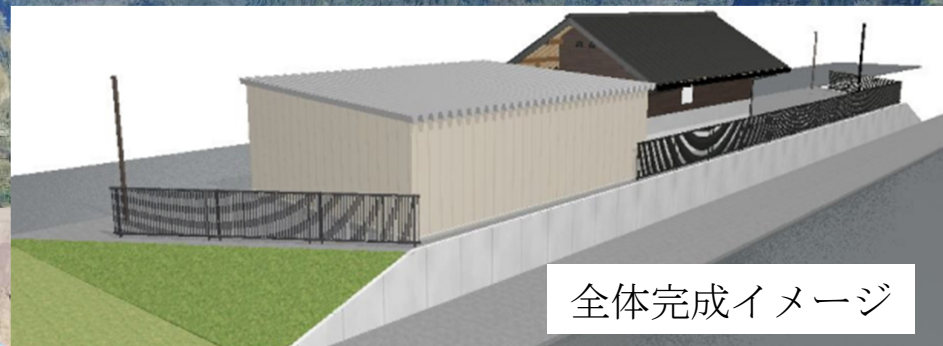
第1回協議会(R4.3.14)



第2回作業部会(R4.8.19)



第5回協議会 現場視察(R6.11.25)



トイレ倉庫
設置予定位置

整備スケジュール(予定)
令和6年度 設計
令和7年度 工事

令和6年12月撮影



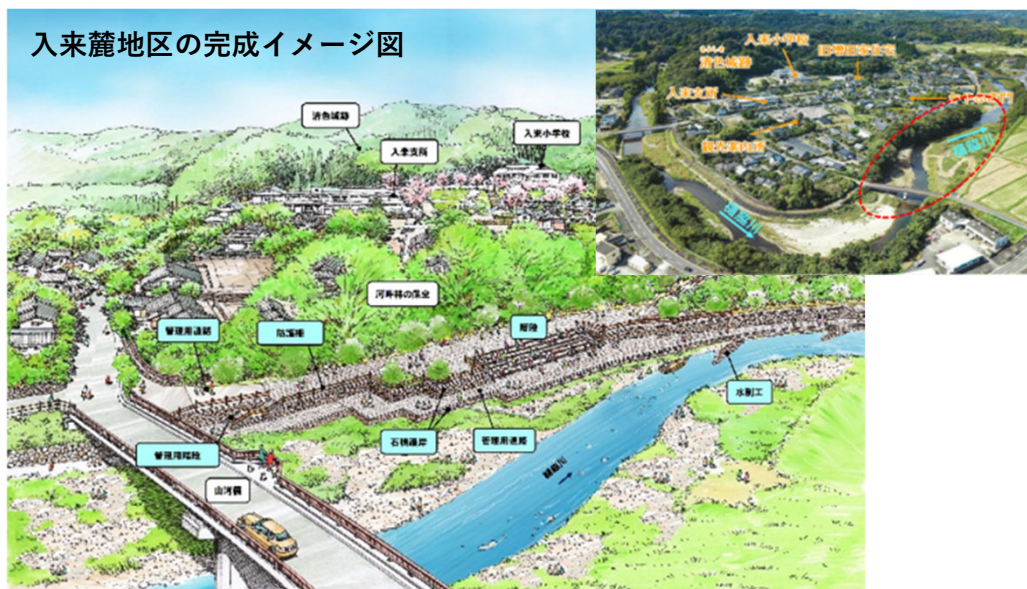
令和7年1月末撮影

入来麓地区かわまちづくりの状況

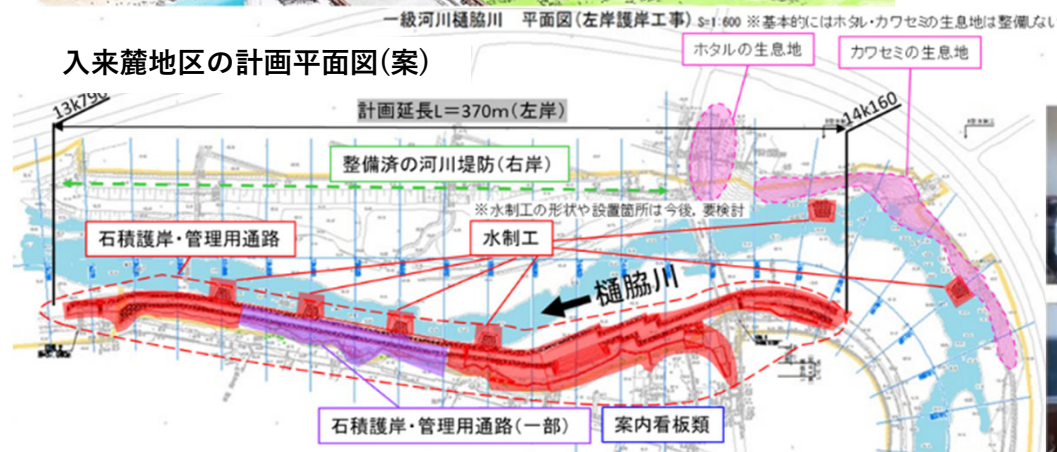
(薩摩川内市)

R2年度から地域の方々との意見交換を実施し、**R6年度に追加登録**されました！本市4箇所目、**県内初**の県管理河川の登録であり、国県管理河川が同一計画に盛り込まれた計画登録は**九州初**。

入来麓地区の完成イメージ図



入来麓地区の計画平面図(案)



入来麓地区かわまちづくり これまでの経緯

●要望活動など

- 1 R1. 5 左岸浸食と市道ひび割れ確認
- 2 R1. 6.12 清色地区コミと保存会連名で市に対し護岸整備要望
- 3 R1. 7.18 市から県に対し護岸整備要望進達
- 5 R3. 2.26 入来地区コミ連絡協議会から市に対し景観整備要望
- 7 R3. 4.13 市から県に対し景観整備要望進達

●リバーフロント整備事業(R3～)

- 4 R2.12.17 地元団体代表者とのワークショップ形式意見交換会
- 6 R3. 3.20 景観整備に対する地元意向確認(地元説明会)
- 8 R5. 1.21 地元団体代表者への事業(河川整備計画等)説明会
- 9 R6. 2.25 設計内容等に対する地元合意(地元説明会)
- 12 R6. 6.10 県市による維持管理協定に伴う覚書締結

●河川環境整備事業(かわまちづくり)(R7～)

- 10 R6. 4.11 事業移行に関する県市協議開始
- 11 R6. 4.26 計画追加登録に関する国県市協議開始
- 13 R6. 6.11 第6回川内川水系かわまちづくり推進協議会(会承認)
- 14 R6. 6.19 計画変更登録(入来麓地区追加)申請
- 15 R6. 8. 8 計画変更登録(入来麓地区追加)通知
- 16 R6. 9. 6 変更登録証伝達式
- 17 R6. 10.17 事業移行に対する地元合意(地元説明会)



ワークショップのようす(R2.12.17)

変更登録証伝達式(R6.9.6)

令和6年度工事進捗状況(令和6年12月25日時点)



ほたる再生の取り組み状況

（さつま町）

時吉地区付近(さつま町)

利用状況 ホタルノヒカリ開催状況 2024

11月23日 さつま町（あび〜る館）において、川内川のホタルをテーマにホタルノヒカリと題したイベントが開催されました。小学生の吹奏楽や朗読、ダンス、弾き語りなどのステージショーやキッチンカー等の出店もあり、多くの人で賑わいました。最後には、参加者がケミカルライトを手手にホタルが飛び交う光景を再現する試みを行いました。



ほたる再生の取り組み(さつま町)

背景

○川内川流域(さつま町)、全国有数のホタル観賞地であり、一級河川でホタルが群舞するのは全国的に珍しく、さつま町を代表する観光資源となっている。

○現在、さつま町全体でホタルの個体数が減少しており、ホタル舟の運営スタッフの高齢化も相まって二渡ホタル舟は令和5年シーズンで活動を終了することになった。

○水辺環境の保全・創出、ほたるを中心とした観光資源を増やすことを目的に「ほたる再生プロジェクト協議会(R6.5.20)と幹事会(第1回R6.8.20、第2回R6.10.25)」を開催。



▼ほたる再生プロジェクト協議会設立(R6.5.20)



▼ほたる再生プロジェクト協議会幹事会開催



R6.10.25第2回幹事会



渡辺教授(福岡大学)
現地視察状況

▼ほたる再生プロジェクト協議会委員

職名	所属等	備考
会長	さつま町長	
副会長	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所長	
委員	鹿児島県北薩地域振興局総務企画部長	
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所長	
委員	電源開発(株)南九州電力所長	
委員	さつま町副町長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所技術副所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所宮之城出張所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所専門官	幹事会委員
委員	鹿児島県北薩地域振興局河川港湾課長	幹事会委員
委員	鹿児島大学水産学部教授	幹事会委員
委員	川内川漁業協同組合組合長	幹事会委員
委員	奥薩摩ホテルを守る会会長	幹事会委員
委員	二渡がらっぱボタルの会	幹事会委員
委員	公益財団法人かごしま環境未来財団理事兼事業課長	幹事会委員
委員	学識経験者	幹事会委員
委員	さつま町女性団体連絡協議会	幹事会委員
委員	さつま町総合政策課長	幹事会委員
委員	さつま町町民環境課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会教育総務課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会学校教育課長	幹事会委員
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課長	
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課専門官	
事務局員	さつま町さつまPR課長	
事務局員	さつま町さつまPR課商工観光係長	
事務局員	さつま町さつまPR課商工観光係	

かわまちづくり利活用状況

（伊佐市）

湯之尾地区(伊佐市)

利用状況

いさドラゴンカップ開催

日時：2024年4月28日(日)

場所：鹿児島県伊佐市 伊佐市菱刈カヌー競技場

伊佐市菱刈カヌー競技場で4月28日、いさドラゴンカップが開催され、県内外から多くの人々が集まりました。川の水族館、フードコーナー、スケートボード体験会、凧揚げなど、ドラゴンカップ以外の催しも盛り上がっていました。



- ① 舵取り「楫手」・・・ドラゴンボートの操縦を受け持つ舟長
- ② 太鼓手「鼓手」・・・舟を漕ぐリズムを調整する役目
- ③ 漕ぎ手「漕手」・・・ドラゴンボートのエンジン



受賞者には伊佐市の名産品
(お米や焼酎など)が贈られました。

水辺へのアクセス性と共に利用の際の安全性が向上したことで、カヌーやボート、パークゴルフなど、多くの方々に利用していただいています。

かわまちづくり利活用状況

（湧水町）



2024 SAGA国スポ

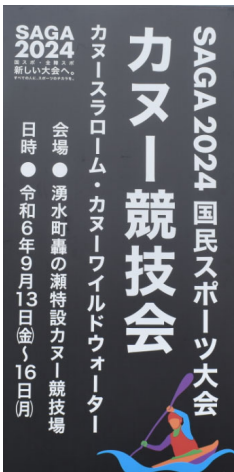
9月13日(金)～9月16日(月)

■湧水町轟地区かわまちづくり

FDQRHVODORP

FDQRHHz ICGZ DWHU

平成29年度～令和5年度にかけてかわまちづくり整備を行い、安全で円滑な利用促進が図られ、国スポ開催4日間で延べ多くの来場者で賑わい



競技種目

▽ スラローム

流れのあるコースに設置されたゲートを通り、所要タイムとポイントの加算で順位が決定します。



▽ ワイルドウォーター

岩などの障害をかわしながら、流れの激しい川を一気に漕ぎ下り所要タイムで順位を競います。



会場の様子



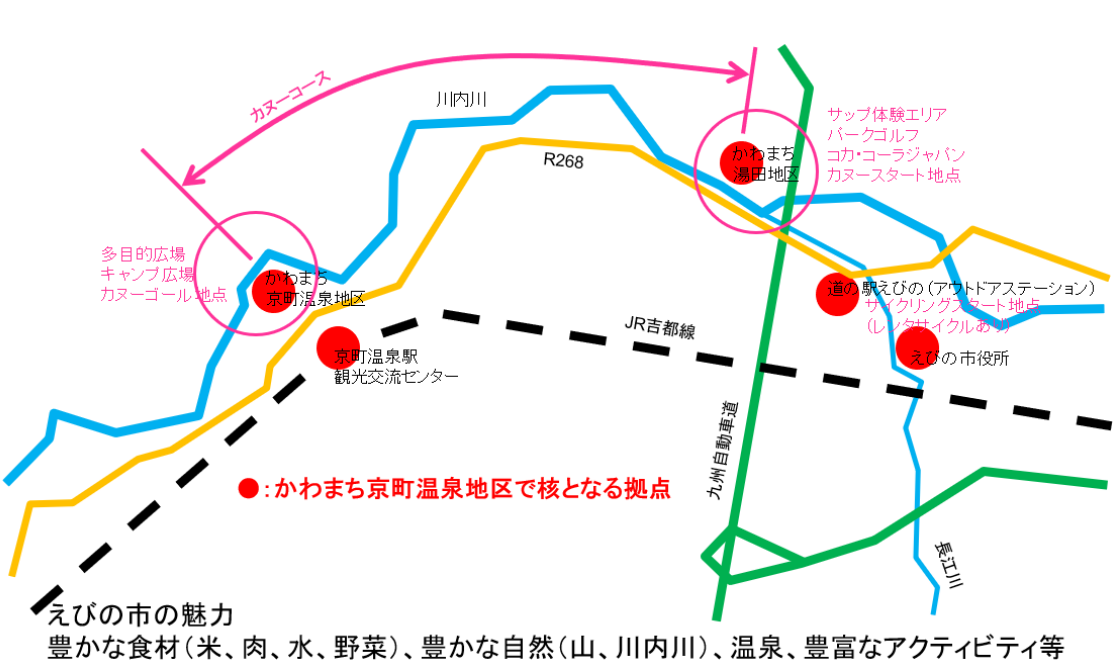
カヌー艇庫前では出店も！

京町温泉地区かわまちづくりの状況

（えびの市）

京町温泉地区かわまちづくり

「えびの市の魅力をかたとまちでつなぎ、
住民参加型の持続可能なかわまちづくりの実現」
～「アウトドアシティえびの」の更なる活性化を目指して～



R4. 8 官民連携(コカ・コーラ)イベント
(第1回社会実験)



R4. 10 キャンプイベント
(第2回社会実験)



R5. 7 京町温泉花火大会



R5. 9 カヌーイベント

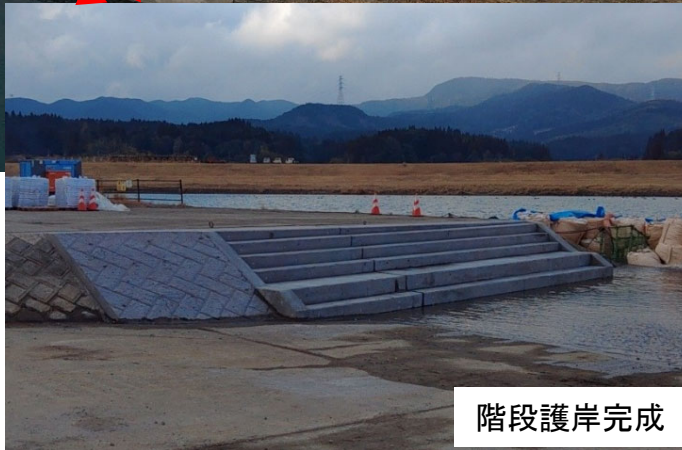


京町温泉地区かわまちづくり

令和7年1月撮影



川表階段完成



階段護岸完成



管理用通路施工中 19

令和6年7月 京町温泉夏祭り花火大会開催状況

整備内容

7月20日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、えびの京町温泉夏祭り花火大会が開催されました。約3,000発の花火がえびのの夜空を彩り、近距離で打ち上げられる花火は迫力満点！また、灯籠展示やステージプログラム、神輿や露店など楽しいイベントが盛りだくさんあり多くの人で賑わいました。



会場の様子



花火大会



令和6年9月 えびのスプラッシュフェス～温泉水をぶっ放せ～開催状況

整備内容

9月15日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、京町温泉活性化プロジェクトの一環として、飯野高校生が発案した『えびのスプラッシュフェス』が開催されました。水鉄砲の水に京町温泉の温泉水を使用し、選手全員が、金魚すくいの「ポイ」を頭につけて水鉄砲で撃ち合いました。当日は、たくさんの人が参加し大いに賑わいました。



飯野高校生による夏のイベント企画

EBINO SPLASH FES

先着20チーム限定です!!

温泉水をぶっ放せ!!

2024 9/15 sun

会場 京町川内川河川敷(芝生広場)

時間 受付: 午前8時30分～午前9時
競技開始: 午前10時
終了: 午後1時ごろを予定

小売販売、雨天時は中止いたします。

主催: スプラッシュフェス実行委員会(飯野高等学校内)
共催: えびの市観光協会 協力: 京町温泉旅館組合、川上自衛隊えびの駐屯地

えびの市観光協会 TEL 0964-35-3838 FAX 0964-35-2488



温泉水をぶっ放せ!!



京町温泉地区かわまちづくり(オープン化)

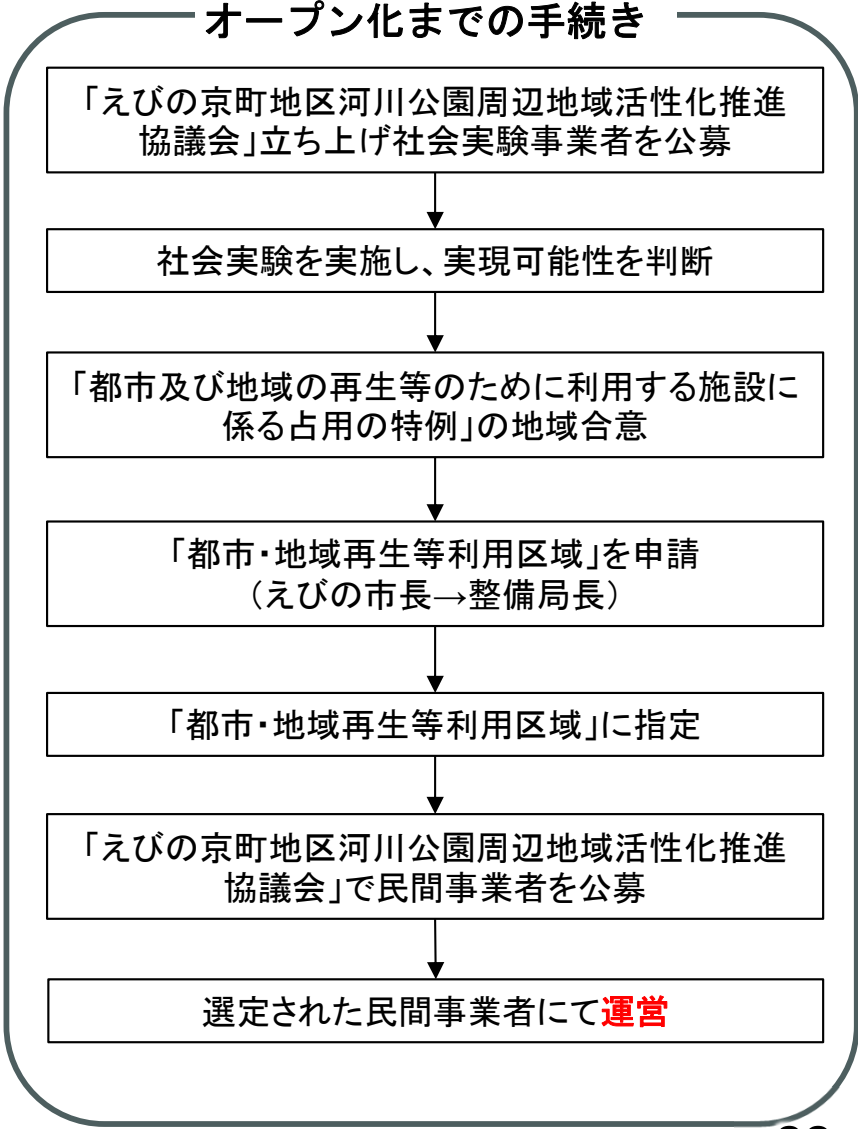
○河川空間のオープン化 = 都市・地域再生等利用区域への指定

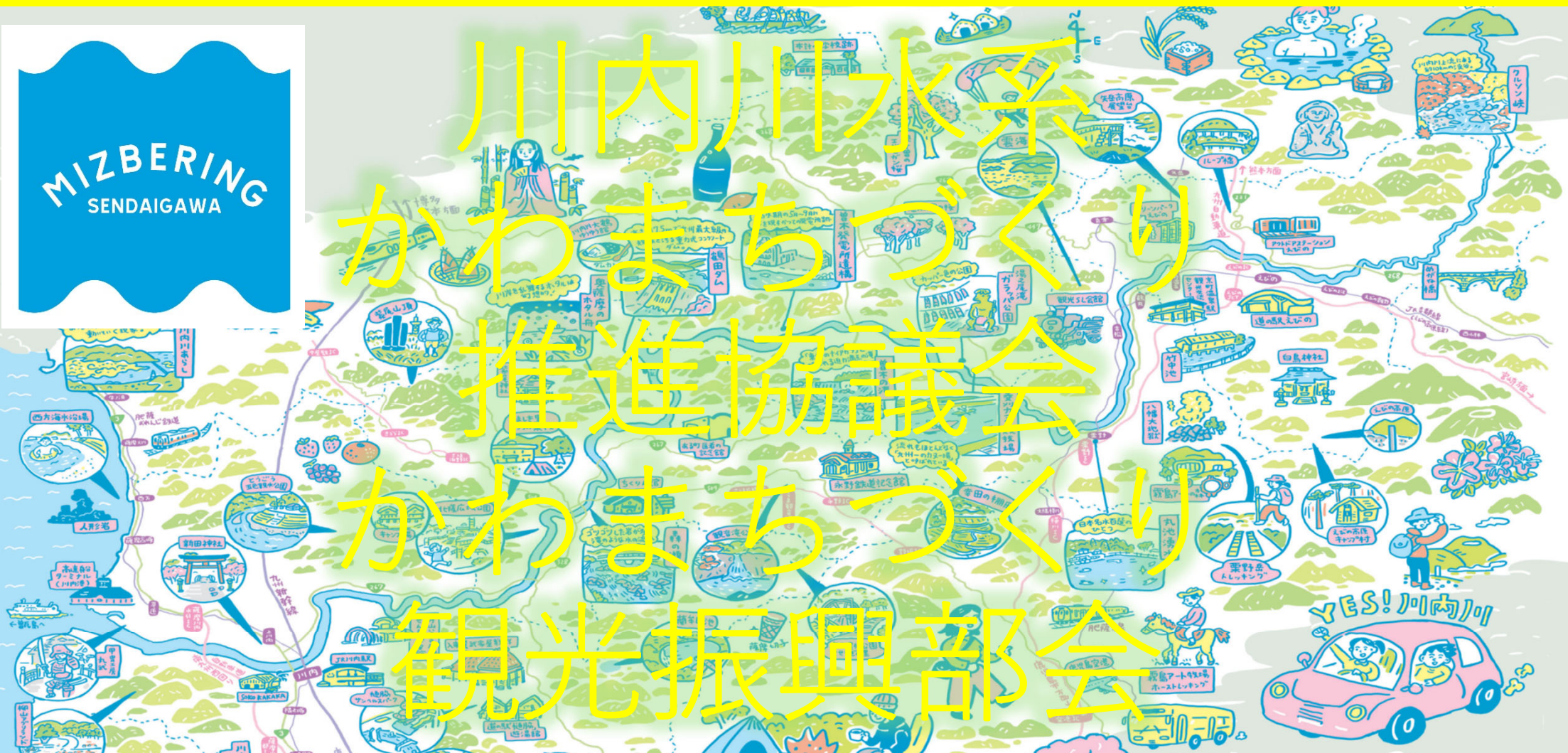
通常は河川を営利目的で使えないので
利用形態が限定される
→公園や遊歩道、地域のイベントにのみ使用可



都市・地域再生等利用区域へ指定されることで
事業者による営利活動が可能に！
(例) カフェ、レストラン、キャンプ場等

年度	月	開催数	主なスケジュール
R6	10月	第1回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第1回会議 これまでの取り組みについて（工事状況、利用状況） 河川空間オープン化について
	11月	第2回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第2回会議 社会実験募集要項について
	1月	第3回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第3回会議 応募事業者の審査、選定
R7	4月		社会実験スタート





～ 川内川流域における観光振興の取り組み ～



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

設立

平成29年6月

目的

川内川かわまちづくりを中心とした
①川内川ブランドを確立
②交流人口及び物産販路等を拡大
③地域経済の発展・活性化

構成団体

10団体

市町

薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市

県

北薩地域振興局 始良・伊佐地域振興局 小林土木事務所

国

川内川河川事務所 鶴田ダム管理所

取組事例

流域内外でのPR
旅行番組の制作、放送
ホームページ、パンフレット制作
スタンプラリーの実施
インフルエンサーを活用したPR
交流人口創出のための民間団体事業者の交流事業 . . .

川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会



R5 ・ SUPイベント「かわまちLOOP」 @伊佐市菱刈カヌー競技場



令和 6 年度の取り組み

1 流域観光PR事業

2 川内川流域観光連携コーディネート事業

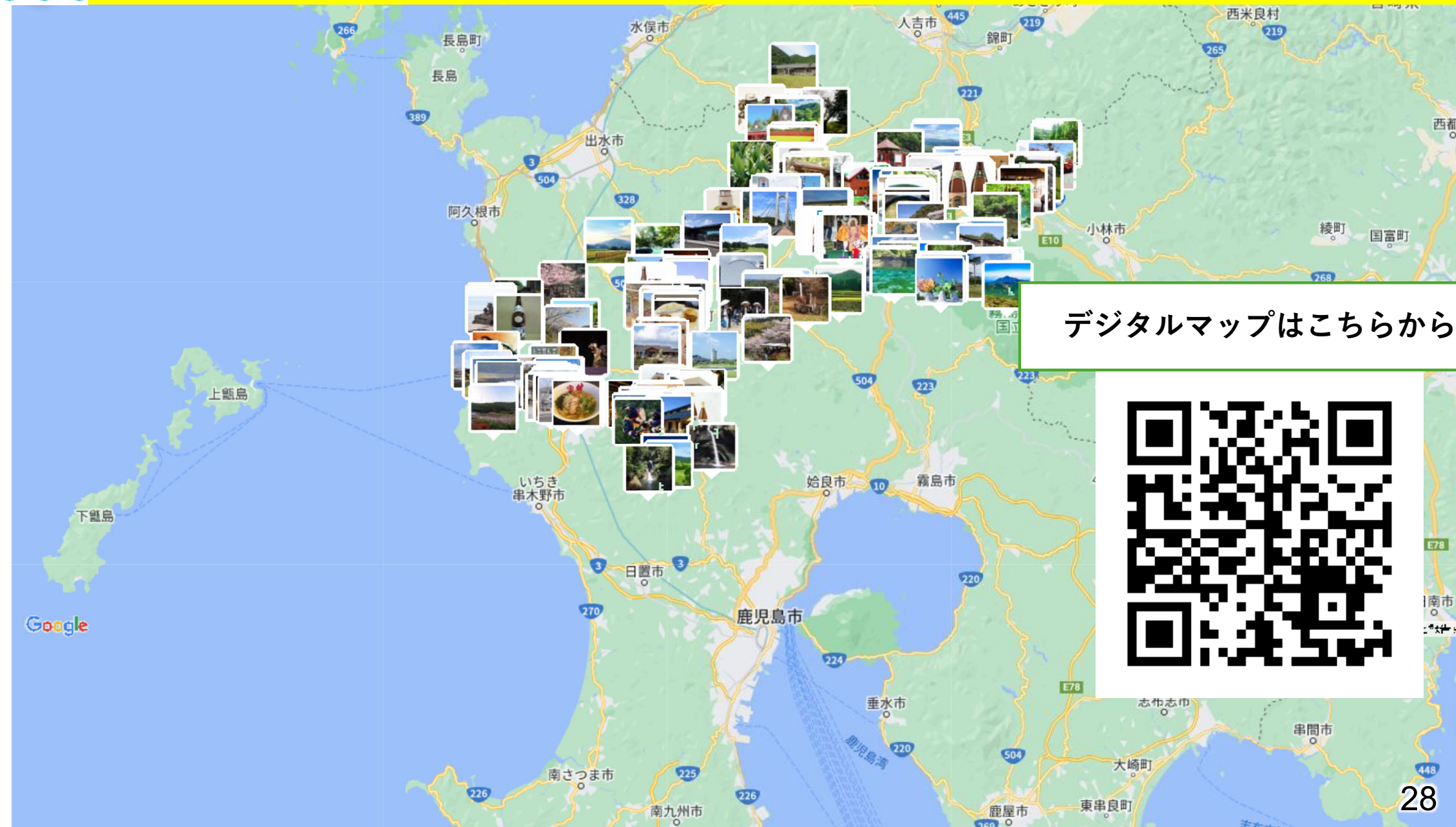
令和 6 年度の取り組み

1 流域観光PR事業

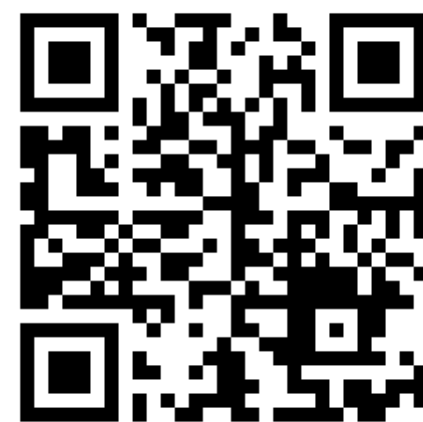
- ① 1 1 2 名に流域内特産品があたる！
スマホで楽しむ川内川流域スタンプラリー

令和 5 年度制作した川内川流域の観光デジタルMAPを観光誘客促進のため活用。

川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会



デジタルマップはこちらから



MIZBERING SENDAGARA
川内川

スマホといっしょに川へ出かけよう。

スマホで楽しむ!

川内川

周遊スタンプラリー

7/20(土) ▶ 10/19(土)

対象エリア 薩摩川内市 / さつま町 / 伊佐市 / 湧水町 / えびの市

川内川流域の景勝地・史跡・物産館など観光情報が盛りだくさんのデジタルマップが完成しました!
マップの完成を記念して豪華な特産品が当たるデジタルスタンプラリーを開催します!!

112名様に当たる! 豪華特産品をプレゼント!

獲得したスタンプ数に応じて、3つのコースからご応募いただけます。
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

- スタンプ7個 50,000円相当 2名様
- スタンプ5個 10,000円相当 10名様
- スタンプ3個 3,000円相当 100名様

※右の写真はイメージです。※自治体を指定した応募はできません。

川内川周遊スタンプラリー運営事務局
(南日本新聞社 地域共創室内)
TEL 099-813-5022 10:00-17:00(土日祝除く)

川内川水系かわまちづくり推進協議会
かわまちづくり観光振興部会

参加方法

step1

川内川をドライブして、スタンプラリースポットへ向かいます。

step2

スポット内に設置されたQRコードを読み込みます。

step3

最大で10スタンプ集められ、「景品と交換」から応募をお願いします。

step4

応募者の中から抽選で、川内川流域の特産品をご自宅にお届けします!

スタンプラリースポット一覧

薩摩川内市 駅市 薩摩川内	薩摩川内市 SOKO KAKAKA	さつま町 つるだ特産品販売所 自慢館
さつま町 宮之城ちくりん館	伊佐市 曾木の滝観光案内所	伊佐市 お肉の直売所 伊佐
湧水町 くりの物産館	湧水町 吉松物産館 ふれあい市場	えびの市 アウトドアステーションえびの
えびの市 京町温泉駅観光交流センター	スタンプラリー期間終了後もデジタルマップは変わらずお使いいただけます。 川内川の魅力がたくさん詰まっていますので、どんどん活用して、あなただけの川内川の楽しみ方を見つけてください。	

3 3 3 名からの
申し込み



抽選にて1 1 2 名
に流域特産品を送付

令和 6 年度の取り組み

1 流域観光PR事業（つづき）

②メディアを活用した情報発信

◆SNSでの情報発信の開始

公式Instagramを開設し、毎週流域内の情報を発信

◆テレビ番組内での情報発信（鹿児島読売テレビ（KYT））

・「行ってみっが」内で特集放送

5週連続（8/1～9/1）で5市町の観光地等をリポート

・CM放送

7月 10本（Aタイム2本、アザータイム8本）

8月 1本（24時間テレビ内）



公式Instagram
ミズベリング川内川



Sendaigawa.3zbe

令和6年度の取り組み

2 川内川流域観光連携コーディネート事業

- 目的 ①川内川流域のブランド向上
②関係人口創出の機会創出



◆流域内市町のふるさと納税情報発信

◆流域連携イベント「ホタルノヒカリ@さつま町鶴田」の開催

日時 11月23日（土）

場所 さつま町神子 水辺の学校（あびーる館隣接・さつま轟の滝上流）

参加者 県内外から300名以上（子ども多め）

協力 さつま町民の方々、流域内中心の飲食店・店舗、地元中心のアーティスト

◆その他流域内イベント支援

- ・全国市町村レガッタ大会でのPR @薩摩川内市 2024年9月7日(土)、8日(日)
- ・「ミズベリング会議in川内川」2024開催（行政向け）@えびの市 2024年7月26日(金)
- ・「ミズベリングinえびの」開催支援（民間向け）@えびの市 2024年9月22日(日)



公式Instagram
ミズベリング川内川



Sendaigawa.3zbe

川内川流域で今後強化したいこと

流域内外の交流人口の拡大による経済効果

民間レベルの交流の強化

民間活動の活性化の支援

官民の関係性の強化